



中心として行われました。体育科や体育コースを持つ全国の学校が集まり、情報交換をしました。各県ともに少子高齢化を

課題に挙げ、広報の仕方などの報告がありました。また、市立尼崎高校が、研究授業をされ、生徒たちが生き生きと授業に参加し、評価までつなげる新学習指導要領に向けた取組を発表されました。同じ体育科を持つ学校として興味があったのですが、施設も素晴らしく、体育科も2クラス(女子もいます)で活気のある授業を展開されていました。温水プールでの授業では、IPADによる水中撮影などによるフォームのチェックもされており、意欲を高める工夫をされていました。大いに参考にさせていただきました。

同時期には県総合文化祭が佳境を迎え、本校の書道部が県立美術館王子分館に作品を展示。残念ながら賞の選考には漏れたようですが、書道パフォーマンスと同時進行で取り組んできた作品だけに今後の活動にも期待を寄せていきたいと思えます。お疲れ様でした。



また、15日からは柔道部が新人大会に臨んでおり、団体戦では男女ともに近畿大会にコマを進めたそうです。女子は2人しかいませんので2勝が勝ち上がる条件ですが、よく頑張りました。そして個人戦。1年東嶋さん(左)は初心者ながらベスト8に入り大健闘。近畿大会出場権を賭けた試合では



惜しくも敗れましたが、ぐんぐんと伸びているようなので今後に期待です。2年藤村さん(右)は、同じ階級に日本一がいる関係でいつも2位ということですが、今回も2位。決勝は力の差を見せつけられた感じですが、来年は兵庫県で全国高校総体があるので、2名に枠が増えるとのこと。着実に力をつけて確実なものにしてほしいです。男子の試合は見に行けませんでした。100kg級で長谷川慶斗選手がベスト4に入り近畿大会出場ということ。個人は2人が近畿大会出場です。今からが本当の勝負ですね。頑張ってください。



さて、17日には第9回神戸マラソンが開催されました。私は準備委員会から第2回大会まで実行委員会事務局におり、最初のコースづくり

に奔走した経験から今でも大会のお手伝いに行かせていただいているのですが、本校の野球部、JRC部および生活科学科1年生もボランティアとして大会の盛り上げに協力しているということでしたので、少しその報告をさせていただきます。まず、上の写真は、テレビ映像によるスタートセレモニーとスタート風景です。神戸市役所前のフラワーロードを20000人のランナーが埋め尽くし、「みんなで咲かせる“感謝と友情”のひまわり」をイメージして黄色の手袋した選手が手を振って花を咲かせるということを表現されていました。第1回目を開催するにあたって事務局では、この道路に20000人を並べる図面を引いたり、本当に並ぶことができるのかを道路面積から算出したりと苦勞もしました。また交通規制により多くの地域や沿道に影響を及ぼすことから、大会の趣旨説明と協力依頼にコース沿道、周辺地域や影響が及ぶ業界、マンション管理組合や自治会、トラック協会やバス協会など様々などころの周知を図るために行きました。規制の関係でコース南側では全く動けなくなる地域も出るため厳しい言葉をかけられたり、クレームの電話をいただいたり最初のころは苦しいこともありました。

しかしながら回を重ねるごとに理解も進んできたのかそういった内容のことは少しずつ減ってきてとても良い大会になってきたのだと思います。さらに警察、消防の協力も必要です。一番右の写真はコース上だけでなく、コース周辺の道路の混み具合を数十台の監視カメラで確認し、交通渋滞が発生しないようにしています。警察でしかこの対応はできないのですが、それ以上にコースの設定や影響範囲など随分と協力いただきました。消防は緊急対応で救急搬送が必要な場合の救急車を急行させるために医師会と協力して人命救助に当たってくれています。9回を迎えた大会ですが、死亡に至る案件は発生しておらず、安全な大会はこのように維持されています。この他にも警備員やボランティアに多数出でいただいていますので、その調整部署や資機材関係(大会告知看板やトイレ等の設置、誘導看板など)の制作にあたる部署など目に見えないところで大会にかかわっていただいている方はかなりの数に上ります。参加者は10000円を超える参加費を払っていますので不手際があると当然のことながらクレームを言います。できて当たり前のことを当たり前にするには多くの方が意思統一を図り裏方に徹していかなければ成功しません。そんな中、本校の野球部はゴール後のランナーに荷物を手渡す係(左写真)、JRC部と生活科学科の生徒はランナーが更衣をして帰る際にコンソメスープを配る係(中央、右写真)をしてくれました。野球部の方は比較的早いランナーへの受け渡しのため15時にはほぼ終了でしたが、スープ配布は17時くらいまで続き、一番混む時間にはかなりの行列になっていましたので、なかなか大変だったと思います。ゴール地点で行われたクロージングセレモニーにはJRC部が神戸市長、県副知事の後ろで並んで参加してくれて最後まで大会の盛り上げに花を添えてくれました。比較的天気も良かったので、活動しやすかったと思いますが長時間にわたりお疲れ様でした。引率の先生方もありがとうございました。



上記以外の活動としてはバドミントン部が近畿大会に出場。男子シングルスで2年藤本選手がベスト8に、男子ダブルスで藤本・中岡ペアがベスト16に入ったと報告を受けました。強豪校にもまれてよい経験ができたと思いますので、この経験を活かせるよう今後の頑張りに期待したいと思います。お疲れ様でした。

その他、生活科学科は神戸で行われた合同文化祭に、吹奏楽部は多可町の「ラベンダーパーク秋の感謝祭」に参加してきたようです。多くの生徒が頑張ってくれています。

16日にあった県立高砂南高等学校40周年記念式典では、バルセロナ、アトランタオリンピック水泳代表選手の千葉すずさんが講演に来ており、「目標を持って諦めずに努力すること」を自身の経験から話をされました。水泳オリンピック代表選考に一石を投じた経験、メダルを期待されて取れなかった時のマスコミ対応など随分と苦労された話の中には経験した人でないとわからない心の動きを分かりやすく話しており、とても良い講演でした。約70分間しゃべりっぱなしには圧倒されましたが、来年日本でオリンピックを迎えるにあたって選ばれた選手にはとにかく力を出し切ることを考えて大会に臨んでほしいと思われた講演会でした。

11月も下旬に近づき、寒さが身に染みる季節となってきました。体調管理に気を付けると同時に事故等にあわないよう安全面にも気を付けてください。

＜追加のお知らせ…＞

右の写真は生活科学科2年生が、湯村温泉の佳泉郷井づつや井上料理長から指導いただいた後、県立香住高校に向かい学校間交流をさせていただきました。その際サバの水煮の缶詰を作らせていただきました。ご指導いただきありがとうございました。



さらに右の写真は地方行政ニュース紙の「兵庫ジャーナル」に掲載された本校書道部の取材記事です。10月26日に行われた「ふれあいフェスティバル in 北播磨」で三木市の書道家に指導を受けた様子や立てかけた紙(布)に書くパフォーマンスについての内容です。